

コロナ禍にあつての学校教育について

Q

授業数や学習の遅れは、夏休みの短縮と行事の見直しや中止でまかなうと伺っておりますが、先生や友人たちとの「人間関係性づくり」や「思い出づくり」など本来の教育といった意味で問題はないのか？また夏の酷暑対策や単に詰込むだけの授業に映りかねない。子どもたちに学びの動機づけや好奇心を育む事に傾注するべきだと捉えますが、いかがお考えでしょうか？

加えて、頭数揃えだけのための教育者の人材確保は不要であり、臨機応変に対応できる人材が求められると考えるが併せて市の指針を教えてください。

A

修学旅行などは、できる限り行かせてあげたい気持ちは同じです。

文部科学省の説明会等も受け、検討中ですが、子どもたちの授業に関しても、人形形成が大切であることは十分に承知しておりますが、コロナ禍における制限が多いのも事実です。ウェブ配信による家庭での授業や、設備準備に配慮が必要なお家庭も含めフォローしています。

教育人材についてもスクールサポートやシルバー人材派遣を活用しながら有用な人材を確保しています。



写真はイメージです。

9月28日は世界狂犬病デー。 忘れないで!! 致死率約100%の現実



感染した犬に噛まれたりすることで、発症すれば幻覚や興奮状態を経て死に至る狂犬病。日本国内では60年以上発生はしておりませんが、依然、世界では恐ろしい病気として蔓延しており、致死率は季節性インフルエンザや新型コロナウイルスの比ではありません。現に直近では、2020年5月22日、外国籍の方が日本で発症し、昨年9月に亡くなっています。

一方、我が国では室内犬需要の高まりなどからその接種率は落ちて、います。

現に2018年度、全国の自治体の飼育犬登録数は623万匹であるのに対し、ペットフード協会の調査では約890万匹の取扱いと、その差に267万匹も生じており、危機意識の欠如が見て取れます。

予防注射が義務だからではなく、かわいい家族との大切な時間を育むためにも狂犬病予防注射と

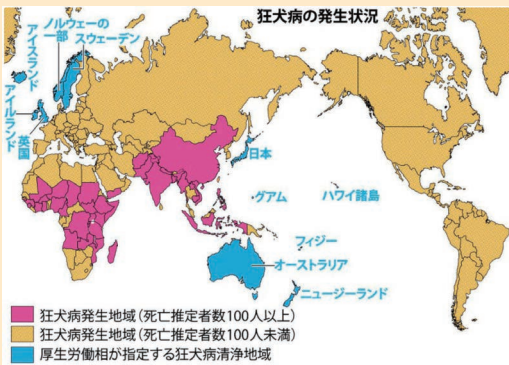
畜犬登録

のご理解を

お願いします。

詳しくは、動物愛護センターやお近くの係りつけ医にご相談下さい。

ご存知ですか？



青色以外の国や地域では狂犬病は抑え込んでいません。(出典/厚生労働省資料より)

お知らせ 全国市議会議長会議員総会で表彰されました。

去る、5月27日に「全国市議会議長会代96回定期総会」が書面開催され、議員在職15年以上にあたる一般表彰をいただきました。(表彰規定により、町会議員は在職2分の1に換算) 振り返れば1995年の阪神・淡路大震災の年に揖保川町議会議員に初当選させて戴いてからはや25年の歳月が流れました。

これも偏に皆様のご理解とご協力の賜物だと感謝しております。今後も地域のため、引き続き市政へと皆様の声を届けるべく緊禪一番取り組んで参りますので何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

